

B型肝炎予防接種説明書

対象者・接種時期は・・・

**生後 2 か月～1 歳の誕生日の前日まで
に 3 回**

※1歳の誕生日をすぎると、3回の接種が完了していても残りの回数の接種は全額自費となります。

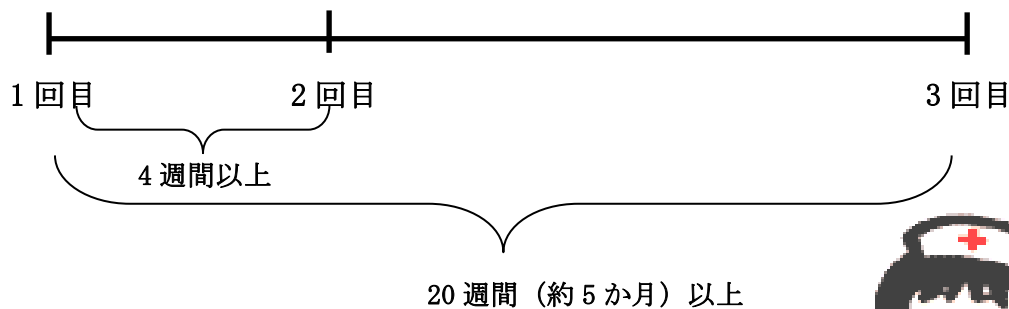
接種間隔は・・・

1回目：標準的には、生後2ヶ月以上のときに接種。

2回目：1回目から4週間以上の間隔をおいて接種。

3回目：1回目から20週間（約5か月）以上の間隔をおいて接種。

1歳未満



B型肝炎とは・・・

B型肝炎ウイルスが血液をとおして感染することでおこる肝臓の病気です。B型肝炎ウイルスへの感染は、一過性の感染で終わる場合と、そのまま感染している状態が続いてしまう場合（この状態をキャリアといいます）があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の人では肝硬変や肝がんなどの命に関わる病気を引き起こすこともあります。

接種上の注意

B型肝炎ワクチンのゴム栓には乾燥天然ゴム（ラテックス）が含まれているものがあるので、ラテックス過敏症（天然ゴムの即時型の過敏症）のお子さまの場合は接種前に医師にご相談ください。

副反応

主な副反応としては、体のだるさ、頭痛、注射部位のはれ・発赤、痛み等があります。まれにショックやアナフィラキシーをおこすことがあります。

※HBs抗原陽性の妊婦から生まれた乳児として、健康保険の給付によりB型肝炎ワクチンの投与を受けている場合は、定期予防接種として接種することはできません。